

京都府内の使用済核燃料中間貯蔵施設設置について、
反対の姿勢は変わりなく今後も変更はないとの表明を求める
質問・要望書

京都府知事 西脇隆俊様

2019年1月31日
避難計画を案ずる関西連絡会
京都の原発防災を考える会

日頃より府民の安全な暮らしを守るためご尽力いただき、ありがとうございます。

2017年の11月、福井県知事は関西電力に対し、県内原発の使用済燃料を県外に搬出貯蔵するよう要求され、関西電力は2018年中に計画地点を公表すると約束しました。しかし、関西電力はその約束を果たしませんでした。

1月25日、避難計画を案ずる関西連絡会と福井県の3団体は福井県に要望書（全国から272団体の賛同）を提出しました。福井県の回答は、関電が約束を破ったことは「遺憾」「2020年を念頭に中間貯蔵の県外候補地を示すよう求めている」でした。

京都府の山田前知事は、2015年（平成27年）6月23日の京都府議会定例会で中間貯蔵に関して以下のように答弁されています：

「京都府内におきましては、舞鶴市長が市議会において中間貯蔵施設の建設は認められない旨を表明しましたし、宮津市では議員提案の「ふるさと宮津を守り育てる条例」が本年3月に全会一致で可決されまして、事実上反対の姿勢を明確に宣言されたところがあります。京都府といたしましても、両市の姿勢を踏まえ、これは同一歩調をとってまいりたいと考えております。」

「中間貯蔵施設についてはもう舞鶴や宮津が反対ですよと、私も同じですよと言ったのですけれども。ということで答弁はしておりますので、御心配なく。」

昨年、私達は京都府に再度尋ね、姿勢は変わっていないという確認を受けています。

質問事項

1. 京都府として、使用済核燃料の中間貯蔵施設が京都府内に設置されることに反対している姿勢に、変更はありませんか？
2. 宮津市、舞鶴市を問わず、府内に使用済核燃料中間貯蔵施設を設置することには反対ですか？
3. 京都府として使用済核燃料中間貯蔵施設を府内に設置することに反対する姿勢はどのように表明しますか？

要望事項

京都府内に使用済核燃料中間貯蔵施設を設置することに反対する姿勢に変わりはなく、今後もその姿勢に変更はないと表明してください

2019年1月31日

避難計画を案ずる関西連絡会



連絡先団体：グリーン・アクション／原発なしで暮らしたい丹波の会／

脱原発はりまアクション／原発防災を考える兵庫の会／美浜の会／

京都の原発防災を考える会

この件の連絡先：グリーン・アクション

京都市左京区田中関田町 22-75-103 Tel: 075-701-7223